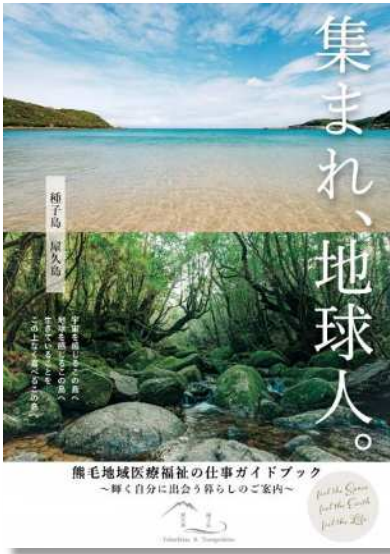


一 熊毛地域医療・福祉人材確保キャラバン事業 一



《目的》

県と熊毛地域の医療機関・福祉施設等が合同で本土の専門学校等を訪問し、学生等に直接、熊毛地域で働く魅力等を伝えることにより、医療や福祉分野の人材確保を図る。

《コンセプト》

令和5年度に作成した人材確保のパンフレットや動画に登場する職員などと共に学校を訪問し、自らの言葉で「熊毛地域の医療機関や福祉施設で働くこと」や「熊毛地域で暮らすこと」の魅力をアピールする。

《ターゲット》

- ・大学生〔社会福祉学部〕
- ・専門学校生〔看護、介護福祉学科〕

● 説明を受けた学生の声（アンケート結果抜粋）



令和7年5月30日（金）  
鹿児島国際大学  
社会福祉学部3，4年生（44人）

- 種子島に行ったことがなかったが、行ってみたいと思った。離島で働くのも一つの選択肢になった。
- 自然豊かな場で働けるのは、利用者・職員どちらにも良い影響を与えていそうとても興味深かった。
- 離島で働くことは今まで考えたことがなかったが、（島での生活は）ゆったりとした時間軸がとても過ごしやすく良いなと思った。
- 島に就職するのも一つの選択として考えてみようと思った。インターンなどあれば参加してみたい。



令和7年7月23日（水）  
鹿児島医療技術専門学校  
看護・介護福祉学科2年生（43人）

- 今回離島で働くことのやりがい・魅力などを聞いて、とても興味を持った。本土とは違う離島でしか経験できないことが多くあり、自分も一度は働いてみたいと思った。
- 意外と施設が充実していると思った。
- （話を聞いて）移住者を受け入れてくれる環境であること、時間に余裕ができた、ということが良いなと思った。
- 種子島・屋久島のことについて知らないことがいっぱいだったので、たくさん学ぶことができてよかった。



令和7年7月22日（火）  
鹿児島医療福祉専門学校  
看護学科2年生（52人）

- 屋久島出身だけど施設のことについて知らないこともあった。将来は屋久島で働きます。
- 離島で働くことを今まで考えたことがなかったが、主に環境面にすごく魅力を感じた。選択肢の一つになった！
- 離島でしか経験できない景色や人との交流を感じた。
- 自然が大好きなので、すごく良いなと思った。



令和7年7月23日（水）  
鹿児島医療福祉専門学校  
介護福祉学科1，2年生（24人）

- 離島だからこそその自然の豊かさや人との近さが魅力的だなと思った。
- 種子島・屋久島での仕事の魅力を知ることができた。
- 自然豊かでとてもよい場所だなと思った。
- 説明会の前は、種子島・屋久島で働きたいと思っていたが、今回の説明会で少し考えてみようと思った。

◆ 皆さんからの質問

- Q Iターンしてきて、種子島の方は受け入れてくれたか？  
A 島民の方々の印象は、人なつっこくて、困っている人を放っておけない人柄。島外からの移住者に慣れているようで、すぐに受け入れてくれた。
- Q 離島に移住して、時間の使い方や心などに変化があったか？  
A 心に余裕ができた。行動的になった。

熊毛地区で働く魅力について **163**人の若い学生が熱心に耳を傾けてくれました。

この事業に関するお問い合わせは

鹿児島県 熊毛支庁 保健福祉環境部 地域保健福祉課  
〒891-3192 西之表市西之表7590番地  
TEL : 0997-22-1830 FAX : 0997-22-0050  
MAIL : kumage-chiikihoken@pref.kagoshima.lg.jp

■ 熊毛地域医療福祉の仕事ガイドブック  
「集まれ、地球人。」は  
二次元バーコードから御覧いただけます。

